

自由民主党 京都市会 議員団ニュース



平成21年(2009)11月7日発行
 ■発行人/田中セツ子 ■編集長/西村義直
 〒604-8571 京都市中京区河原町御池
 TEL.075(222)3718~23 FAX.075(257)3091
 http://jimin-kyoto.jp/

No.28

自由民主党京都市会議員団は、10月28日、「平成22年度京都市予算及び今後の市政方針に対する要望」を門川大作京都市長に提出しました。京都市会において、引き続き第一党という立場から、重大な責任を担っていかねばならないと決意、市民に安心・安全を与えることができるよう、予算と市政方針にたいし次のように強く要望しました。

平成22年度 予算・市政方針で要望

京都未来まちづくりプランに 着実に

市民生活に安心 安全の施策を：

財政運営の転換へ

提出された「平成22年度予算と市政方針に対する要望」は前文と5委員会別各分野83項目と行政区別74項目からなっており骨子は次の通り。

減、バブル期に建設された地下鉄の巨額の建設費の償還などにより、財政は疲弊しきつている。これを再生し、急激な景気変動にも対応できる財政運営へと転換していく

はもろんのことである。加えて、京都市は国に対して従来の要望型ではなく、対等の立場で国へ提言、国

平成22年度の予算編成は、新規事業の抑制、既存事業の凍結・縮小、更なる人件費の削減など、極めて厳しいものとなることは必ずである。

京都市は、他都市に比べて財政基盤が脆弱である上に、国の三位一体改革による地方交付税等の大幅削減

の行政改革による経費の削減、事務の効率化



22年度予算で門川市長(左)に要望書を渡す田中自民党市会議員団長(右)

を動かしていかなければならない。

京都市がこれらの課題を解決し、「未来の京都まちづくりマニフェスト」の実現と「京都未来まちづくりプラン」の着実な推進を果たすことにより、未来の京都を創造し、市民生活に安心と安全を与えることができるよう、強く要望する。

視野に入れる。温室効果ガスの目に見える削減を図り、環境モデル都市としての責任を明確に提示し、取り組むこと...など11項目。

▼**経済総務委員会** 京都の持つ歴史的、文化的な価値を守り活かすために、『国家戦略としての京都創生』の実現に積極的に取り組む。行財政資源の有効活用を図る。伝統産業の活性化と後継者の育成に資する取組を進める。新たな観光資源の開発など、さらなる観光振興に努めること...など23項目。

▼**まちづくり消防委員会** 「京町家まちづくりファン」を積極的に活用し、京町家の保存・再生を図る。「歩くまち・京都」総合交通戦略に基づき、公共交通機関の利用促進や利便性向上のための案内図板、標識の設置、更には、パーク&ライドの充実など、環境整備を積極的に行う。高度集積地区への企業立地促進を図り、南部地域の魅力あるまちづくりを推進すること...など20項目。

▼**環境委員会** ごみ収集業務は完全民営化を備とバリアフリー化の施設整備など3項目。▼**右京区** 嵯峨野地域の無電柱化をさらに積極的に推進することなど8項目。▼**西京区** 桂川街道の北伸。桂川を渡る新しい橋の早期実現を図ることなど11項目。▼**伏見区** 久我・羽束師地域のまちづくり推進の目標となるビジョンを策定、羽束師墨染線等の整備など6項目。

▼**交通水道委員会** 交通局は有識者会議の答申を尊重し、収入増を図る。周辺部における下水道整備の早期事業化を図ること...など3項目。

地域の声を反映 行政区74項目

各行政区別の要望・提言は▼**北区** 深泥池の保全と活用。京都・京北線の狭隘箇所への着工など8項目。▼**上京区** 上京区総合庁舎建設基本設計の策定。花街上七軒の電線地中化推進など7項目。▼**左京区** 新総合庁舎整備にともなう道路交

通環境の改善、出張所の適正配置検討など11項目。▼**中京区** JR嵯峨野線壬生駅(仮称)の実現に最大限の努力など2項目。▼**東山区** 「歩いて楽しい東大路通」歩行空間創出事業の着実な推進など4項目。▼**山科区** 「おこしやす」やまし

な「協議会」への一層の協力体制を充実。観光誘致策を含む地下鉄東西線の旅客増対策など6項目。▼**下京区** 梅小路公園の屋内型水族館、交通博物館などの建設構想推進について中央市場はもとよりリサーチパークなど、面として有機的な観光スポットになるよう取り組むことなど8項目。▼**南区** JR西大路駅前の整

備とバリアフリー化の施設整備など3項目。▼**右京区** 嵯峨野地域の無電柱化をさらに積極的に推進することなど8項目。▼**西京区** 桂川街道の北伸。桂川を渡る新しい橋の早期実現を図ることなど11項目。▼**伏見区** 久我・羽束師地域のまちづくり推進の目標となるビジョンを策定、羽束師墨染線等の整備など6項目。

▼**交通水道委員会** 交通局は有識者会議の答申を尊重し、収入増を図る。周辺部における下水道整備の早期事業化を図ること...など3項目。

巨額の財源不足をどうする

市独自の調達策

全庁あげて経費削減に取り組む

富きくお議員 (山科区)

富きくお議員 (質問) 京都

市の財政についてですが、今年度の法人市民税は当初の見込みを101億円下回るなど、155億円もの巨額の財源不足に陥る見通しです。国からの補てん措置などを除く60億円は市独自で調達しなくてはなりません。どうやって不足分を調達するのか、伺います。

門川大作市長 (答弁) 非常

に危機的な財政状況です。市民負担の増加につながらない行政内部経費の見直しに取り

代表質問

9月 定例会

組んでおり、下水道事業の資本費平準化債などを活用することに よって30数億円の財源を捻出するとともに、引き続き全庁をあげた経費の削減で残る20億円の解消を目指します。



新型インフルエンザの疑い?発熱者の診療をする医師

新型インフルのマニュアル徹底

富きくお議員 (質問) 新型

インフルエンザの大規模な流行が懸念されていますが、「対策マニュアル」に沿って市民や職員に周知徹底することが必要です。どのように取り組んでいるのか。

医療機関での受診に関しては、どの程度まで調整が進んでいるのか伺います。

門川大作市長 (答弁) マニ

アルの全職員への周知と共有化を図ることはもとより、マニュアルに沿った新たな啓発リーフレットの全戸配布や、感染時に重症化する恐れがある方を対象とした7種類のチラシを該当者や関係機関に配布しております。軽症を含む診療体制につきましては、新型インフルエンザ診療協力医療機関として市内697の機関が医師会に登録され、うち473が公表可能です。

富きくお議員の質問項目

- ・ 政令指定都市の現状と権限
- ・ 補正予算の執行停止
- ・ 財源不足の解消策
- ・ 法人市民税の減収見直し
- ・ 環境の取組に対する市民理解
- ・ 「循環型社会推進基本計画」の見直し
- ・ 保育行政における団体の役割
- ・ 補助金等交付に関する条例
- ・ 新型インフルエンザ対策

伝統技術継承へ支援策

表彰や発表の場を

中核担う人を育てるため

中村三之助議員 (上京区)

中村三之助議員 (質問) 伝

統産業に携わる中堅技術者に貴重な優れた伝統技術を継承していただく為の支援策として、何らかの表彰や作品発表の場の創設を提案致しますがいかがですか。

門川大作市長 (答弁) 非常

に厳しい状況にある本市の伝統産業の活性化を図るためには、若手や熟年の方だけでなく

ごみ減量のシステムづくり推進

富きくお議員 (質問) 新政

府は温室効果ガスの25%削減を表明しました。積極的な姿勢は評価できるものの、今後国民や事業者に大きな負担を強いるのでは、と危惧しています。従来からの手法にとらわれないこと、新たな視点からの取組と、事業系ごみの減量にどう対応されるのか。

星川茂一副市長 (答弁) 家

総合的な防災の取り組みが必要

中村三之助議員 (質問) ゲ

リラ豪雨にみられる予想を超えた自然災害が増えているとの認識を新たに、水災害も合わせたハザードマップを作成し、総合的な防災の取組が今後必要となると考えます。

門川大作市長 (答弁) 現在、

防災マップの見直しの作業に着手しており、今後、水災害対策の内容を充実し、全戸配布して参ります。更に地域の特性に応じた水災害対策となるよう、きめ細かな指導や防災訓練を実施するなど取組方法を見直して参ります。

中村三之助議員の質問項目

- ・ 一時避難場所の選定条件と周知方法
- ・ 雨水整備基準の引上げ
- ・ 水害対策の総合的な取組
- ・ 薬物乱用防止の啓発活動の強化
- ・ 子どものメディア依存対策の強化
- ・ 教師等への公共マナーの指導
- ・ 仮称：地域調整官の創設
- ・ 伝統産業に携わる中堅技術者の表彰等
- ・ 今後の野良猫対策
- ・ 小学校の長期宿泊・自然体験学習の促進
- ・ 上京区総合庁舎の整備

(中村三之助議員の質問3面に続く)

10月1日に9月定例会市会代表質問が行われ、自由民主党市議員団から3氏が質問に立ちました。富きくお議員は9項目、中村三之助議員は11項目、山元あき議員は6項目の重要施策についてそれぞれ質問をしました。

野良猫対策で助成



猫などを捨てないよう呼びかける動物遺棄対策のポスター

【中村三之助議員質問続き】
中村三之助議員（質問）地域で問題となっている野良猫対策については、野良猫の不妊・去勢手術を行うことが野良猫を減らす効果が確実にあります。策定された「京都市動物愛護行動計画」の目標達成にも、野良猫の不妊・去勢手術のための何らかの助成を考えていく必要があると思いますが。

門川大作市長（答弁）野良猫が暮らす地域周辺の住民や動物愛護ボランティアとの連携の下、社団法人京都市獣医師会からの全面的な協力を得て、来年度から政令市初の取組として、家庭動物相談所において、無償で避妊・去勢手術を行う制度を創設したいと考えております。

災害時の避難所シール作成提案

中村三之助議員（質問）災害発生時避難する場合、まず一番に集まる「一時避難場所」の広さの基準、1000㎡は広くて実態に合っていないので改める必要があると考えます。末には答申が予定されており、これを受け直ちに「歩くまち・京都」総合交通戦略を策定致します。憲章については市民意見を参考に名称を「歩くまち・京都」憲章」とし、すべての市民の皆様とこの憲章を共有し、「京都力」を結

す。また、地域の防災行動計画の周知を図るために、各避難所が明記できて、玄関などに貼っておけるシールを作製し全戸配布することを提案致しますがいかがですが。

ブロードバンドゼロ地域の解消

三浦孝一消防局長（答弁）議員ご指摘のとおり、町内によりましては、この広さを確保することが困難なところもございます。そこで、基準は改正し、町内の皆様が集まりやすいよう地域の規模や特性に応じて指定していただけるよう指導を徹底して参ります。また、ご提案のシールの活用を含め「一時避難場所」の周知方法を工夫して参ります。

スクールバスの無料運行を継続

山元あき議員（質問）京都市の山間地域の一部で、ブロードバンドが整備されていない状況となっていたことから、この度、「京都市ブロードバンド・ゼロ地域解消プラン」が策定され、2010年度末までに空白地域を解消する方針を出されました。このプラン策定に至った市長の思いと、取組みへの決意をお聞かせ願います。

集して人と公共交通優先の

歩くまち・京都憲章策定

総合戦略の答申へ

人と公共交通機関の優先

山元あき議員（右京区）

山元あき議員（質問）「歩くまち・京都」総合交通戦略策定審議会」の答申が発表されるのはいつか？戦略はどのような点を柱とされるのか？また、中間取りまとめの際に

提案のあった「歩行者優先憲章」をどのような位置付けとされるのか。

由木文彦副市長（答弁）審議会では①鉄道、バスの既存の公共交通を再編強化し、使いやすいさを画期的に改善すること ②歩く魅力が満喫できるまちを創ること ③歩いて

楽しい暮らしを大切にするライフスタイルに転換すること戦略の3つの柱として取りまとめが進んでいます。今月

末には答申が予定されており、これを受け直ちに「歩くまち・京都」総合交通戦略を策定致します。憲章については市民意見を参考に名称を「歩くまち・京都」憲章」とし、すべての市民の皆様とこの憲章を共有し、「京都力」を結

山元あき議員の質問項目

- ・「歩くまち・京都」総合交通戦略の策定
- ・ブロードバンド・ゼロ地域の解消
- ・自立促進援助金制度の見直し
- ・市立病院における地域医療連携の取組
- ・京北地域の通学費補助制度の存続
- ・保育園の待機児童対策



京北地区で運行されている無料のスクールバス

であり、何とか早期に解決の目途をつけたと考えております。整備手法としましては、携帯電話の通話エリア拡大も併せて実現できるよう、携帯電話の高速データ通信の手法を採

高桑三男教育長（答弁）本市におきましては、平成19年度に花背小中学校を開設し、新たにスクールバスを運行するに当たり、他の地域で運行していたスクールバスも含め、その無償化を図って参りました。こうした状況を踏まえ、京北地域においても、現行のスクールバスの無料運行を来年度以降も継続していくとともに、スクールバスの代替として路線バスを利用する小中学生についても、引き続き同様に路線バスの運賃を全額補助していく考えであります。



新型インフルエンザ対策

自民党市会議員団が中心的役割担う

国では与野党が逆転しましたが、京都市会では自民党京都市会議員団が市民の皆様の安心安全な暮らしを守るため、これまで同様、議会において様々な分野で、中心的に提言をしております。

今回は、これから寒くなる季節を迎え、新型インフルエンザ対策に関する議会の動き等を集めました。

我が自民党が新型インフルエンザ対策の強化を求める意見書を作成し、全会派の賛同を得て国へ提出しました。

平成21年10月28日提出

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、厚生労働大臣 あて

新型インフルエンザ対策の強化を求める意見書

新型インフルエンザに関しては、これまで多くの患者が軽症で回復してきた一方で、滋賀県の7歳の男児が死亡するなど、子どもや妊婦、高齢者のほか、基礎疾患を有する方などを中心に重症患者が増加する可能性があり、対策の強化が急がれている。

今後、秋から冬に向けて新型インフルエンザの大流行が強く懸念される中、ウイルスの性状変化による毒性の増大や薬剤耐性の獲得が生じた場合などに備えて、これまでの対策について不断の検証を行い、新たな対策を講じていく必要がある。

よって国におかれては、新型インフルエンザ対策を強化するため、下記の施策の推進を図られることを強く求める。

記

1. 院内感染対策の徹底など、医療従事者や重症化のおそれのある基礎疾患を有する方などの感染防止対策を強化すること。
2. 重症患者に対する適切な医療提供体制を確保すること。
3. 感染拡大及びウイルス性状変化を早期に探知するサーベイランス（調査・監視）を実施すること。
4. 国産ワクチンの製造体制強化に努め、速やかな接種を可能とすること。
5. 地方自治体の負担軽減に向けた国の助成制度や経済的負担に耐えられない人に配慮した接種体制を整備すること。
6. 地方自治体、医療機関及び国民に対して迅速かつ適切に情報を提供すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

対策の強化を求める意見書

京都市会
国へ提出

特徴と現状

毒性は弱いものの感染力が強く感染者1人からうつる人数も季節性では1・0～1・2人で、新型の場合2・0～2・4人と約2倍にもなり、10月12日から18日の一週間だけでも全国で83万人が感染。京都市でも7千～8千人

ワクチン接種



【意義】
・ 死亡者、重症者の発生を出来る限り減らす。

が感染していると推測されます。他都市では、幼い子どもや高齢者の死亡も確認されるなど市民の生命および健康に重大な影響を与えるおそれがあり深刻な問題です。

【接種対象者と接種開始時期の目安】

- ・ そのために必要な医療を確保する。
 - ・ 感染を防止するためではない。
 - ・ 妊婦、基礎疾患を有する方は11月9日
 - ・ 幼児（1歳～小学校就学前）、小学校低学年は12月後半
 - ・ 1歳未満児の保護者等、小学校高学年、中学生、高校生相当、高齢者（65歳以上）は1月以降
- ※ただし、接種回数に関する

インフルエンザ定点医療機関当たりの行政区別報告数			
行政区・保健所	10/12~10/18	10/19~10/25	10/26~11/1
北 京	12.29	11.14	16.71
上 京	9.80	13.20	16.80
左 京	6.29	9.00	9.00
中 京	18.00	14.60	23.20
東 山	29.33	45.67	46.33
山 科	9.57	17.86	35.43
下 京	8.67	12.67	16.00
南	33.80	52.20	69.40
右 京	9.75	15.88	20.63
西 京	20.86	27.71	62.29
伏 見	8.27	22.00	33.00
報告数(平均)	13.74	20.65	31.26

る国の方針やワクチン出荷状況により変更になる可能性があります。

○京都市新型インフルエンザ相談窓口

電話番号 075-222-3421
受付時間 平日 午前8時30分から午後8時まで
その他各保健所・支所でも平日午前8時30分から午後5時

【インフルエンザ定点医療機関とは】

京都市内の68あるインフルエンザ定点医療機関からの1週間の総報告数を定点医療機関の数68で除した値で、1週間の定点医療機関当たりの平均患者数のこと。この数値が10を超えると注意報、30で警報と定められている。

皆様のご意見・ご要望をお寄せ下さい

〒604-8571 京都市中京区河原町御池
自民党京都市会議員団
jimim3@nifty.com FAX.257-3091

- 自民党京都
市会議員団
選出行政区順
- 小林 正明 (北区)
 - 加地 浩 (北区)
 - 山本 恵一 (北区)
 - 中村 三之助 (上京区)
 - 寺田 一博 (上京区)
 - 巻野 渡 (左京区)
 - 大西 均 (左京区)
 - 加藤 盛司 (中京区)
 - 津田 大三 (中京区)
 - 内海 貴夫 (東山区)
 - 富 きくお (山科区)
 - 吉井 あきら (山科区)
 - 下村 あきら (下京区)
 - 田中 セツ子 (南区)
 - 井上 与一郎 (右京区)
 - 田中 英之 (右京区)
 - 山元 あき (右京区)
 - 田中 明秀 (西京区)
 - 西村 義直 (西京区)
 - 高橋 泰一朗 (伏見区)
 - 繁 隆夫 (伏見区)
 - 橋村 芳和 (伏見区)